

ビジョン2023に向けて

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会

はじめに

一般社団法人 医薬品セキュリティ研究会（以下、「**医セ研**」という。）は、平成25（2013）年9月に、偽造医薬品対策を継続的な取り組みとして日本に定着させ、製薬企業、偽造対策技術を有する企業、大学がオープンに情報を交換し、全体のレベルを上げるとともに世界の偽造医薬品への取り組みとも連携できることを目的に設立され、「偽造医薬品リスク対応に向け、企業ニーズ及び技術シーズをマッチングさせるフォーラムの主催」（定款第3条3項）を目的として、情報収集活動を行うとともに、発展的に研究活動を行って来ている。

医セ研は2023年に設立10周年を迎えることから、それまでに医セ研の今後の長期的なあり方について検討し、10周年を期に、2023年度を目標年次とする中期的な取り組みの方針を内容とする、

「医薬品セキュリティ研究会 ビジョン2023」

を定めることとする。

理 念

・本研究会は、偽造医薬品による健康被害の発生を抑止することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行います。

- ・ 偽造医薬品の解説サービス活動
- ・ 偽造医薬品リスク対応に役立つ技術及び情報の集積並びにそれ等の応用研究活動
- ・ 偽造医薬品リスク対応に向け、企業ニーズ及び技術シーズをマッチングさせるフォーラムの主催
- ・ 偽造医薬品リスク対応に向けたプランニング及びコンサルティング活動
- ・ 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

目指す方向

世界的に偽造医薬品による健康被害の発生が大きな問題となっており、インターネットの普及も相まって、日本は例外であり大丈夫という考えを変える時期にきています。偽造医薬品対策は、偽造医薬品及び防止技術の情報収集・対策実施などの社内体制の整備、知的財産を守るための税関による水際での摘発、オンラインでの偽造医薬品販売の摘発も含めた国内外の警察・司法・行政組織との連携、製薬業界団体を介した世界レベルでの偽造医薬品情報の収集と調査など、多面的な取り組みを必要としています。

偽造医薬品に関する脅威がますます高まるなか、患者さんの安全を最優先に考える必要がある製薬企業として何をどのような手順・優先順位で取り組むべきか、手探りの状態が続いている現状と思われます。

一方、偽造、模倣、不正取引などに代表されるリスクは医薬品に限定されるものではなく、食品、化粧品、電化製品など幅広い業種、製品がその脅威に晒されており、これらの業界では先進的な取り組みがなされている事例があります。偽造医薬品対策として種々提案されている技術、アイデアとこれらの先進的な取り組みは深く関連するものが多く、それらを共有し、製薬企業としての取り組みに応用することは有益と考えられます。

継続的な取り組みとして日本に定着させ、製薬企業、偽造対策技術を有する企業、大学がオープンに情報を交換し、議論を闘わせ、全体のレベルを上げるとともに世界の偽造医薬品への取り組みとも連携できることを目指すことを目的としております。

ビジョン2023 推進のための活動項目

医薬品セキュリティ研究会の目指す目的を達成するため、次の内容を実行する。

- (1) **国内外の偽造医薬品、偽造防止技術等の情報発信**
- (2) **医薬品セキュリティ対策、国際動向の調査・研究活動**

推進活動

(1) 国内外の偽造医薬品、偽造防止技術等の情報発信

- ① フォーラムを毎年定期的で開催し、研究会としての地位を向上する。
 - ・フォーラム、ポスターセッションの開催と合わせて、単発テーマの勉強会を開催
- ② 官庁、製薬会社、技術関連企業等々の連携・協働
 - ・異分野間の交流を推進することによりプラットフォームとして活用
 - ・国内外公的機関（厚労省、WHO、APEC等）で提言されている最新情報の発信
- ③ 偽造医薬品の現状と防止にむけた指針の発信
- ④ 他の研究会とは異なる、パイオニア的な調査活動、情報発信を積極的に実施
- ⑤ 関連情報のホームページ等での発信
 - ・フォーラム等のアーカイブの作成、会員企業技術動向など

(2) 医薬品セキュリティ対策、国際動向の調査・研究活動

- ① 偽造医薬品防止、並びに 偽造防止技術策に関する提言
 - ・偽造防止に関する様々な分野のテーマにアプローチし、問題解決と戦略を提案する。
- ② 学生、若手研究者への支援を積極的に行う。
 - ・偽造医薬品対策の教材提供
 - ・研修セミナーの開催や研究会の運営支援
 - ・若手研究者への調査研究費や奨学金支援 および 研究論文発表、ポスター発表に対して表彰
- ③ 偽造医薬品防止に繋がる調査研究の取り組み

※ その他

- ① 運営基盤、財務基盤の強化および 会員の増員を図る。
 - ・ 会員の増加と正会員への移行の推進
 - ・ 収益事業の強化、推進
 - ・ 理事等の世代交代の推進とメンバー構成の増強

- ② 関連広報、ホームページ等での発信を行う。

これまでの主なフォーラム活動 一覧

＜企業ニーズ及び技術シーズをマッチングさせるフォーラムを年一回開催＞

	日付	主 題	場 所
第一回	2013年9月9日	偽造医薬品と闘う技術の最前線	大阪大学中之島センター
第二回	2014年4月18日	偽造医薬品と闘う技術の最前線2	大阪大学中之島センター
第三回	2015年4月17日	医薬品の流通セキュリティの課題と今後	大阪大学中之島センター
第四回	2016年9月16日	グローバル流通する偽造医薬品との闘い	KKRホテル金沢
第五回	2017年8月25日	安全神話の崩壊	大阪大学中之島センター
第六回	2018年10月19日	止められるか、偽造医薬品と不正流通	大阪大学中之島センター
第七回	2019年8月30日	世界の医薬品セキュリティの動向	大阪大学中之島センター

・その他

「オンライン薬局の実態と消費者意識」と題して勉強会の実施
平成28年6月17日 於：東京工業大学キャンパスイノベーションセンター

偽造医薬品の撲滅を図る

- ・偽造医薬品の撲滅、医薬品流通セキュリティにおける
唯一無二の事業推進を目指す。
- ・薬品メーカー、医薬品流通と 偽造防止技術メーカーの
橋渡しの役割を目指す。
- ・世界の偽造医薬品への取り組みとも連携を目指す。